

○佐野（羽山）の郷を後世に

1. 集落協定の概要

市町村・協定名	宮城県伊具郡丸森町 <small>いぐんまるもりまち</small> 大内佐野 <small>おおうちきの</small>			
協定面積 27ha	田 (100%)	畑	草地	採草放牧地
	水稲、ひまわり等			
交付金額 289万円	個人配分			30%
	共同取組活動 (70%)	役員手当、体制整備活動（研修会等）、事務費等		30%
		水路、農道等の維持・管理活動費		23%
		農用地の維持・管理活動費		17%
協定参加者	農業者 38人、非農業者 4人			開始：平成12年度

2. 取組に至る経緯

大内佐野集落（羽山地区）は、丸森町内の東部に位置し、集落の活性化に向けた取組が盛んな地域である。集落では、第1期対策から積極的な農地保全活動と耕作放棄地を防止するため本事業に参加し、ブロックローテーション方式の集団転作による大規模なひまわり栽培を行い、集落内の農家と非農家が協力し、毎年「佐野ひまわりまつり」を開催している。

このように地域住民による積極的なグリーン・ツーリズムを展開し、都市住民との交流によって集落への潤いと賑わいが生まれている。

また、サルやイノシシなどの野生鳥獣による農作物被害が深刻であり、農家個別の対応では限界があるため、集落内の合意形成を図り、集落全体を電気柵で囲い共同管理する特徴的な鳥獣害防止対策を行っている。

3. 取組の内容

第3期対策では、更なる地域活性化と自立化を目指し、地元で採れた山菜による漬物加工や地場産の餅米を加工利用した豆餅や干し餅等の商品化を行ない、地元の直売所等での販売を計画している。

また、将来的な担い手対策として、集落営農の組織化を検討している。



【佐野ひまわりまつり】



【地場農産物の加工品】

【集落の将来像】

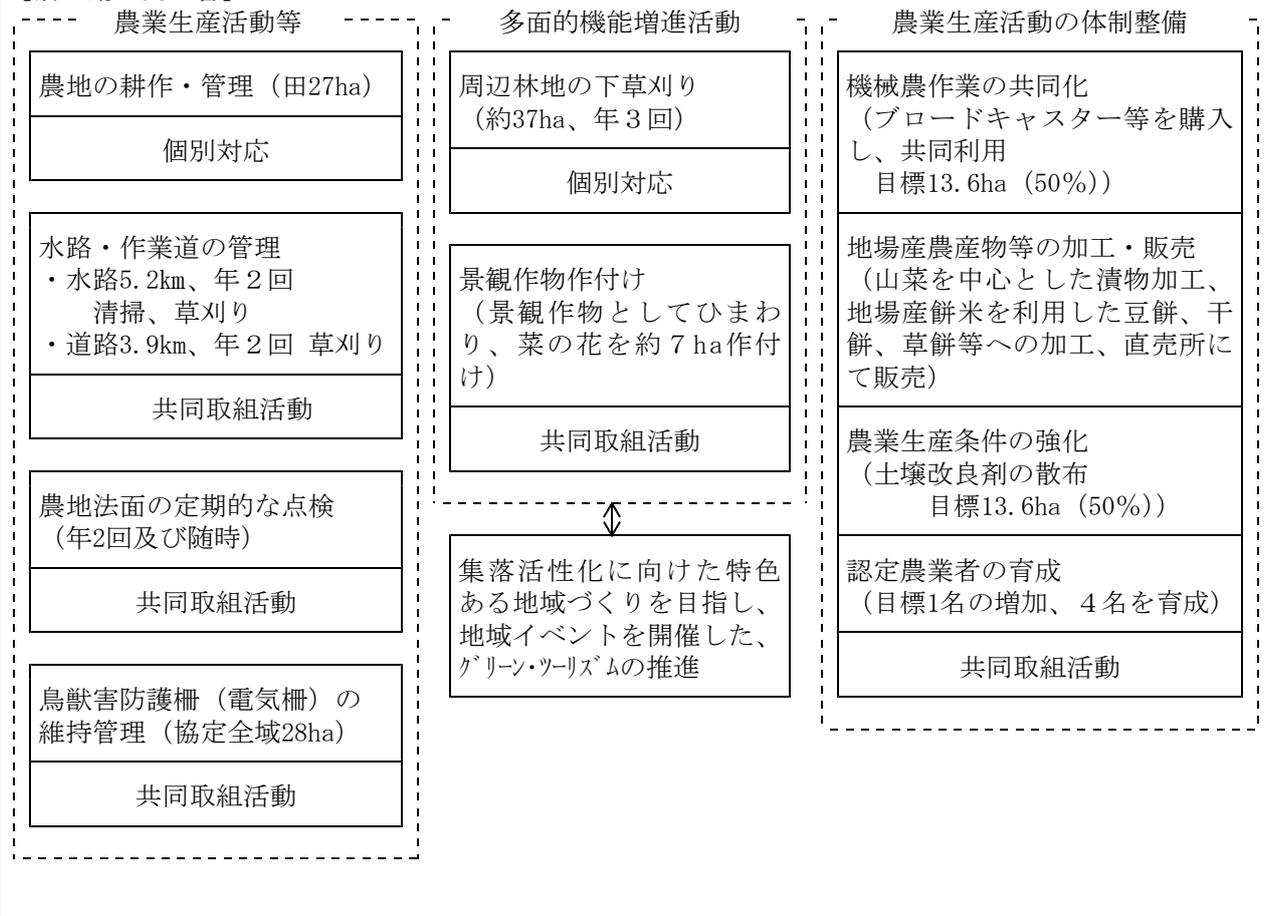
- 担い手を中心とした集落営農組織の構築検討を行い、将来的な集落型の機械共同化や農作業受委託の体制整備を図り、農地維持対策と離農者防止対策の基盤をつくる。



【将来像を実現するための活動目標】

- 担い手の育成
- 機械の共同化や農作業の受委託の体制整備

【活動内容】



4. 今後の課題等

今後の課題としては、集落営農組織を目指して構築検討を行い、営農活動の維持と耕作放棄地の防止を図りたいと考えている。また、更なる地域活性化に向け、佐野地織り等の地域文化の継承活動と共に、新たな地域特産物の開発を行い、直売所との販売連携によって、潤いと魅力のある集落形成を図りたい。

【第2期対策の主な成果】

- 担い手への農作業の委託：水稻基幹農作業（H17:7.4ha、H21実績:15ha）
- 非農家等（非農家：4名、非対象農家：3名）と連携した共同作業
- その他
 - ・ 「佐野ひまわりまつり」の開催（H17～H21 来場者数：延べ25,000名）
 - ・ 鳥獣害防護柵設置（集落内全域28haに電気柵設置）